

2011ふゆトピア・フェア in 札幌「除雪機械展示会」

(除雪車チャンピオンシップ)競技内容について

国際的には2010年2月にカナダのケベック市行われた第13回PIARC国際冬期道路会議にあわせ除雪車チャンピオンシップが開催されました。もちろん国内では、初めての試みとなります。この試みは、国内における除雪機械展示・実演会が今回の札幌で63回を数える中、除雪機械のユーザの立場から新たな契機を与えるものとなるでしょう。

1. チャンピオンシップの目的

除雪車運転者は普段市民の目から離れたところで活躍し、企業間においても、あまり連携や技術協議のような条件は与えられていません。そこで、①仕事の手順や手法に関してオペレータ間の情報の共有を促すこと、②競技関係者の認識と競技参加者の技術レベルを高めること、③安全性に守られた適正な速度で操作し、除雪精度を高めることが如何に重要かを実感すること。等を目的に開催するものです。

2. 競技者

開催地の札幌市等を中心に国道・道道・市道の除雪に携わる維持業者の中から企業の推薦を受けた約20名程度の競技者を組織します。

除雪車チャンピオンシップは安全と快適な冬道を提供する操作者の専門技術を公平に評価します。

競技者は全長およそ200mのコースで操作の正確性・的確性、作業精度、適正で安全な作業速度のもと安定して除雪車の操作に当らなければなりません。

評価点の審査は類似した競技を審査することの経験者があたります。

技術的な競技については、個別の審査員が目標値に対するメジャー計測、目標時間に対する時間計測を行い、機械点検については、点検項目に対する指さし確認を目視でチェックします。最終的な評価については、それぞれポイントを設定し合計点を競うこととします。

3. 競技車両

競技車両は以下の2台を使用します。機種を選定は競技者の申告に基づきます。

①Kawasaki 除雪ドーザ 55DV-2

93KW 高出力エンジンの搭載、ロックアップ機構付きオートマチックトランスミッションの採用により、高い発進加速性と最高速度は49km/hを実現。回送時間の大幅短縮と市街地での渋滞緩和を可能にします。また、最大牽引力はこのクラス最大レベル(68KN)で優れた作業能力を発揮します。

②CAT 924 H z ホイールローダ

96kw高出力エンジン搭載、CATの新世代電子制御エンジンにより、クリーン、低コスト、高い信頼性を実現、最高速度38km/hを実現し、除雪などスピーディな動きに的確に対応。電子制御フルオートマチックトランスミッションの採用により、スムーズな変速と前後進転換を実現。

4. 競技内容

当日は事前に参加者全員でコースの下見を行い、競技方法についての説明会を実施します。次に競技細目を示します。

①機械の点検

停止している除雪機械に乗り込む前に、運行前点検を実施します。審査員が使用する点検表は、「建設機械ポケットブック<除雪機械編>(JCMA)」掲載のもの(別紙)とします。全て点検されれば満点で、そこから減点方式。

②装置幅員感覚

左右に枕木をおいて、ブレード幅を調整しながら前進する。枕木の中の雪(砂による模擬雪)をどれだけきれいに除けられるかで競う。枕木を動かすと減点、枕木から雪が残っている距離に応じて減点とします。

③路側追従性

カーブに左路側として枕木を並べて、横断方向に設置する雪(砂による模擬雪)をどこまで除雪出来るか競う。枕木を動かすと減点、枕木から雪が残っている距離に応じて減点とします。

④操縦性

パイロンでS字コースを作り、前進と後進の2回実施します。パイロンに接触したら減点、時間に応じて減点するが、標準時間を設定してそれからプラスマイナスの時間に応じて減点するものとします。

⑤ブレード操作性

ドラム缶上の台の上に盛った雪(砂による模擬雪)を汎用ブレードで除去します。ドラム缶に接触すると減点、ドラム缶に残っている雪の高さに応じて減点。左右2回実施します。

⑥途中停止

パイロンと停止線で前方停止線を設置し、停止線位置にてブレードを下ろします。ブレード先端が停止線より前後している距離に応じて減点。ただし、停止線オーバーは減点を厳しくします。

⑦車庫入れ

パイロンや木柵、停止線などで、車庫を作ります。パイロンや木柵に接触したら減点、後ろの木柵までの距離に応じて減点、車庫入れ完了までの時間に応じて減点しますが、標準時間を設定してそれからプラスマイナスの時間に応じて減点するものとします。

除雪車チャンピオンシップ コースイメージ

